

令和 5 年度第 3 回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会

議事録

- 1 開催日時 令和 5 年 12 月 14 日（木） 午後 7 時から
- 2 開催場所 南箕輪村役場 講堂
- 3 開会
- 4 委員長あいさつ
- 5 住民からの意見共有
- 6 第 2 回持続可能な自治会検討委員会まとめ
ワークショップまとめ
個人作業シートまとめ
検討補助委員からの意見
- 7 ワークショップ
行政協力業務重要課題の検討・発表
- 8 報告事項
(1) 検討補助委員追加について
- 9 その他
(1) 第 5 回持続可能な自治会検討委員会日程変更について
日時 2 月 22 日（木） 午後 7 時
場所 村民センター大会議室
(当初予定 2 月 14 日（水）)
(2) 塩尻市参考資料について
- 10 閉会

11 出席検討委員

西森一博	征矢 章	河野道夫	山田 茂
唐澤正吉	篠澤 哲	中山 隆	植田 学
小出俊一	志野英男		

12 出席検討補助委員

木下 茂	三澤 稔	大日方音巴	瀧澤婦美恵
------	------	-------	-------

13 欠席検討委員

--	--	--	--

14 村長

藤城栄文			
------	--	--	--

15 副村長

田中俊彦			
------	--	--	--

16 出席事務局

清水勝宏	池田友美	山口みずき	
------	------	-------	--

17 欠席事務局

--	--	--	--

清水勝宏	会議次第 1. 開会 皆さん、こんばんは。12 月に入りまして何かとお忙しい中かと思いますが、お集まりいただきましてありがとうございます。本日お集まりいただく委員の皆さん全員にお集まりいただきましたので、只今から令和 5 年度第 3 回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会を始めさせていただきます。開会に先立ちまして征矢委員長よりごあいさつをお願いいたします。
征矢章委員長	会議次第 2. 委員長あいさつ こんばんは。今日は第 3 回目ということで、顔ぶれもわかってきました。内容もご指導いただき見たりして勉強になっていますが、わからないところがたくさんありますけれど、ご審議いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
清水勝宏	ありがとうございました。それでは本日の資料の確認を事務局よりお願いいたします。
山口みずき	ご確認、お願いします。まず、会議次第、それから資料 1、資料 2、資料 3 は 13 ページまでございます。資料 4。最後に塩尻市の区長等への依頼事項（役員推薦・充て職）の見直し結果というものが一部ございます。それとごみの関係で 3 枚お配りしたものがございます。A4 の封筒の中に前回回収した個人作業シートを入れてありますので、そちらもご確認ください。足りないもの等はございますでしょうか？
清水勝宏	会議次第 3. 住民からの意見共有 それでは 3 の住民からの意見共有ということで、3 からは征矢委員長の進行でよろしくお願いいたします。
征矢章委員長	はい。住民からの意見共有ということで、事務局のほうからお願いいたします。
山口みずき	はい。会議資料 1 をご覧ください。第 1 回目の会議映像を配信してから 3 名の住民の方にご意見をいただきました。3 つ、まとめて掲載してありますので後ほどご確認いただき、今後の会議に反映していただければと思いますのでよろしくお願いいたします。3 については以上になります。
征矢章委員長	第 2 回検討委員会のまとめとワークショップのまとめ、個人作業のまとめにつきましてローカルライフさんから説明をお願いいたします。

松澤清和	会議次第 4. 第 2 回持続可能な自治会検討委員会まとめ ワークショップまとめ はい、よろしくお願いいたします。会議資料 2、第 2 回持続可能な自治会検討委員会会議ワークショップのまとめ一枚ものをご確認ください。前回のワークショップのまとめをこちらに掲載してございます。あわせて、各グループのまとめを前にある黒板の下と盤面に掲載してございますので前回会議のまとめということでご確認いただければと思います。
松澤清和	個人作業シートまとめ 続きまして、会議資料 3、行政協力業務カテゴリー分け個人作業シートのまとめということで、前回皆さまから回収させていただきました個人シートをまとめたものになります。こちらの資料の緑の枠で囲われたものは皆さんのチェックの数が多かった項目になります。まず、各種役員の推薦の欄では民生児童委員の推薦に関して 5 人の方からチェックが入っております。また、裏面 2 ページ目の交通部役員の選任でも 5 名の方からご意見をいただいております。5 ページ目一番上の交通安全協会会員協力金の集金についても 5 人の方からのご意見をいただいております。あわせて、こちらの集金に関する部分ではほかに社協の集金や赤い羽根、自治会の負担金、緑の募金等含めまして多くの方からご意見をいただいております。続きまして 6 ページ一番下の組加入の促進につきましては、6 名の方からご意見をいただいております。その次、7 ページではごみステーションの管理について 7 名の方からチェックが入っております。こちらをあわせて衛生関係業務は全体的に多くの方からのご意見をいただいております。土木関係では砂利敷きの実施に 4 名の方からご意見をいただいております。続きまして 8 ページ中段の消防関係では消防団員確保への協力に 5 名の方からご意見をいただいております。9 ページは飛ばしまして 10 ページの広報紙配布は先ほどのまとめにありました広報紙の関係と、回覧・周知の関係を一緒に 4 名の方からご意見をいただいている状況です。最後 13 ページにつきましては、それぞれ皆さんの個人作業シートの中にご意見をいただいております。意見やコメントの欄に書ききれないものを、後ろにまとめさせていただきましたので、あわせてご確認をお願いいたします。以上で 4 の説明を終わりにしたいと思います。

	会議次第 5. ワークショップ 行政協力業務重要課題の検討・発表
征矢章委員長	ワークショップ、行政協力業務重要課題の検討・発表ということでお願いします。
山口みずき	これからワークショップに入りますが、村長のほうから一言お願いいたします。
藤城栄文村長	皆さん、改めましてこんばんは。5のワークショップに入る前に私のほうから一言だけお願いします。資料4の1枚目を見ていただきたいと思います。これから実施するワークショップのプログラムが掲載されております。その中で薄緑に塗られているところをごみステーションの管理と広報紙配布・回覧周知です。これから前回出していただいた重点課題の中でそれぞれ深掘りをしていくというプログラムに入ります。村として今後予算をつけて対応していくところがございまして、本来であれば票数の多いところから取り掛かっていくべきなのですが、私の目から見て予算がかかってきそうだとということで、ごみステーションの管理はアウトソーシング前提に考えておりますので、それなりの予算がかかってまいりますし、広報紙配布・回覧周知については昨日の議会の一般質問でも実際に困っている人にはタブレットを配布して対応してはどうかと提案したところであります。そうなるとうかなり予算がかかってくるものですから、予算のかかってくるところからやっていきたいので今日お願いするものであります。その分、私も村長としてしっかり予算をつけてまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。以上です。
山口みずき	ありがとうございます。では、ローカルライフさんのほうからお願いします。
松澤清和	改めまして、ローカルライフの松澤と申します。本日もよろしくお願い申し上げます。お仕事のあとのお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。先ほど村長さんからお話いただきましたごみステーションの管理と広報紙配布・回覧周知について今日は皆さんに議論していただきたいと思います。今日は先ほどお話をさせていただきました前回のワークショップのまとめの中から、来年度の予算に関わりのある緊急性の高い項目について2つピックアップさせていただいております。まず前半の部で村長さんがいらっしゃいます、1班は広報紙配布・回覧周知について議論をしていただきたいと思います。2班は前回の作業が少し残っておりますので、そちらとごみステーションの管理について議論をしていただきたいと思います。前半の部、

松澤清和 西森一博委員	おおむね 45 分。前半の部なので議論が全て終わらなくても大丈夫です。後半の部は 1 班がごみステーションの管理の話、2 班が広報紙配布・回覧周知の話という形で後半の部に移っていきたいと考えております。前半の部と後半の部の間は、各班へ内容の共有をさせていただいて、引継ぎをしていきたいと考えております。おおむね 8 時半を目途に議論を終了できるように今日も取り組んでいきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。今日は、それぞれ担当課の職員がおります。住民環境課の職員はごみステーションの管理の部分でご議論いただき、総務課の職員には広報紙配布・回覧周知の部分で議論に参加していただきまして、専門的な立場からのご意見もいただければと思います。では、よろしくお願いいたします。 (ワークショップ) それでは発表に移りたいと思います。今回は 2 班から発表をお願いいたします。 では、2 班の発表をさせていただきます。1 班の意見を参考にさせていただいて、まずは調査ですね。どのくらいしたほうがいいかという調査をして、それで変わりますというアナウンスをして、教育とか皆さんに伝える・教えるということをして、区のデジタル化へのスキルアップを図っていったほうがいいという 1 班の意見を参考にさせていただきました。2 班も同じ意見であります。というのも、まずデジタル化というのは進めたほうがいいというのが 1 つあります。その中で、村がデジタル化を進めるんだよということをバツと示していただく。そういうことが必要なのではないかと思います。課題としましては、まず誰がどう発信するのかということが、1 つ課題にあがってまいります。その中で村のほうで窓口を一元化するのか、それとも各地区で情報配信できるような方法をとっていくのか、というのが課題にあがりました。やはり今、回覧板にしてもすぐに回さなくてはいけないという思いがありますので、家に回ってきた人がバツと見てそのまますぐ隣のおうちに回すという形で流しています。そうしますと、家族で情報を共有するということが難しい。家族で一人しか見れない、というようなことがあります。デジタル化を進めるということを村が示していただいて、アンケートを取って、そのあとにデジタルに不得意な方に対して、村もしくは区のほうで丁寧に皆さんに教えていくといったような流れがいいのではないかなといった意見でした。当然、スマホとかパソコンをお持ちではないご家庭もあるかと思うので、この 1 班で出た学校で使われなくなったタブレットをリユースと
---------------------------	--

松澤清和 篠澤哲委員	いうか、再度使って、それをご家庭に配布して情報を見れるようにする。タブレットを配布する1つのメリットとしまして、防災情報をタブレットに流すと。例えば村独自のアプリを作って、そのアプリに情報が流れる。そこには、防災情報が流れたり、ごみの情報が流れたり、行政からの情報も流れる。そういったアプリがあれば皆さんが利用できるのではないかという意見となりました。まずは村のほうで広報紙や回覧板のデジタル化を目指すといったところを示していただくところから始めたらどうかというところですよ。以上になります。 （拍手あり） ありがとうございます。では、続きまして1班お願いいたします。1班のほうは、ごみステーションの管理ということで話し合いを行いました。今、燃やせないごみ・資源ごみ、分別指導員として約180人の皆さんに、割り振って作業にあたっているのですが、そういうのが結構大変だと。会社に勤めている人は8時まで立ち会いをしなければならないので、遅刻して行ったり、調整したりするのに、あまりよくないのではないかとということでアウトソーシングを考えていったほうがいいのではないかと。報酬をどうするかとか、いろいろ話し合っていたのですが、180人、シルバー、要は人員確保するのが大変難しい、という話が役場の方からありました。田畑はほかの地区と少し変わっていて。田畑地区に住んでいる、ごみの衛生委員として立ち会ったりするのに協力してもいいよという方に登録していただいて、そういう人たちに報酬を払ってごみの立ち会いにあたっているようなので、シルバーとして委託するのではなく、地区で衛生とかそういうごみの困っていることに対して、何か協力していただければ、というのを村のほうでヘッドラインを流して、登録制にした上で、各地区ごと今、月・木みたいな感じで週2日ないし3日そういう仕事があるんですけど、それを例えばスライドして月曜日は南殿と北殿、火曜日は大泉と久保という感じで一週間で毎日仕事があるとする、ちょっとした雇用になる。そういうふうだったら、登録して仕事としてやってもいいんじゃないかという人が出てくるのではないかと。そういうのを提案してみたらどうですか、という話し合いになりました。180人携わっているわけですが、シルバーの立ち会いは今2人いるところを1人でできないかとか。目指すは、この衛生の区の役として役員が立ち会っていることをアウトソーシングすることでなくしていきたいよね、という話でした。また、別件で出たのが、ごみ袋に組と氏名を書いているんですけど、プライバシーの
-----------------------	---

松澤清和	問題だったりいろいろありまして。例えば、番号制にして各戸に番号を割り振って、ごみ袋にはそのナンバーを書くことで識別できる人はできるし、周りから見ても一見どこの家庭から出たかがわからないので、そういうのがいいのではないかというのと。あと、ごみ袋購入チケットを今やっていますが、要らないのではないかと、なくしたほうがいいのではないかという意見もありました。以上になります。 (拍手あり) ありがとうございました。それぞれの班から、今回ごみステーションの管理と、回覧板と配布物に関しての議論をしていただきました。今日、担当課の皆さんにもご出席いただきまして、それぞれの区の課題や今後の方向性についてのご意見をいただきましたので、これを基に検討を進めていけるかと思います。今回の議論、この情報をまとめまして、次回までに皆さんにまとめた結果をお渡しできるようにしていただきたいと思いますと考えております。それでは、本日のワークショップは以上となります。ありがとうございました。
清水勝宏	会議次第 6. 報告事項 (1) 検討補助委員追加について 大変ありがとうございました。それでは 6 の報告事項に入らせていただきます。
山口みずき	事務局のほうからお願いいたします。 報告事項としまして、お一人検討補助委員が追加になりましたので、ご紹介させていただきます。神子柴区にお住いの瀧澤婦美恵さんが公募で応募してくださいました。30 代の女性になります。今回から映像を見てご意見をいただくようになりますので、よろしくお願いいたします。6 については以上です。
清水勝宏	検討補助委員につきましては女性の方を入れたほうがいいのかという住民の方の意見も出ております。今後も女性の皆さんとかが興味を持っていただいて、委員になっていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
清水勝宏	会議次第 7. 次回の日程 次に 7 の次回の日程についてでございます。次回につきましては年が明けて 1 月 17 日（水）午後 7 時からということで、場所はこの講堂で行いますのでよろしくお願いいたします。

	日 時 1月17日（木）午後7時 場 所 講堂
清水勝宏	会議次第8. その他 続いて8. その他につきましても事務局のほうからお願いいたします。
山口みずき	(1) 第5回持続可能な自治会検討委員会日程変更について 2月に行われる第5回持続可能な自治会検討委員会の日程変更についてです。先日メールや電話にてお知らせをさせていただきましたが、当初の予定だと2月は14日でしたが、2月22日（木）に変更になりましたので、よろしくお願いいたします。時間は午後7時からで変更はありません。場所は村民センターの2階、大会議室という所になります。また、来月お知らせさせていただきますが、お間違えのないようによろしくお願いいたします。
山口みずき	(2) 塩尻市参考資料について 塩尻市の参考資料についてです。前回の会議でご提案いただき、塩尻市でも自治会の見直しを行なっているということで、資料をいただきました。塩尻市は役員、主に区長への充て職を半分以上に減らしたり、委員の推薦は地区で推薦するか・しないか選択制にしたりといったことがありましたので、今後こちらもご覧いただいて参考にしていただければと思います。以上です。
清水勝宏	その他、委員さんのほうから何か意見があればお伺いしますけれども、いかがでしょうか？
志野英男委員	次のテーマはどういう形になりますか？今回は行政協力業務のまとめってことでごみとデジタル化の話だったんですけど、それ以外のものが議論されていないので。テーマとしては最初にいただいた資料のテーマになるのか、今回話されなかった行政協力業務の分になるのか。どんなふうになるのでしょうか？
松澤清和	ありがとうございます。今回は次回のテーマを明確にさせていただいておりません。というのは今の2つの議論について次回どのくらいのペースで皆さんに報告できるかというのが読めなかったので、内容については保留にさせていただいております。なにかしら次回、皆さんにお示しできるといいかと考えているのが1つです。もう1つにつきましては、プログラムの中に課題として出ている上か

志野英男委員	ら順番に考えていかなければいけない沢山の項目の議論を進めていければといったところです。曖昧になってしまい申し訳ありません。 ということは、今回の続きみたいなことを第４回でやるということですね？
松澤清和 清水勝宏	はい、その通りでございます。 はい。ほかはいかがでしょうか？よろしいでしょうか？ありがとうございました。
清水勝宏	会議次第９．閉会 今日もそれぞれワークショップの中でいろんなご意見をいただき、ありがとうございました。次回の検討委員会で深掘りをしていけたらと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。それでは以上をもちまして、第３回持続可能な自治会検討委員会のほうを終了とさせていただきます。どうもお疲れさまでした。